

## ヨコヅナサシガメ、ヨツボシケシキスイを捕食す

新 家 勝

サシガメ類が食肉性であることはよく知られており、ヨコヅナサシガメが鱗翅類の幼虫を捕食することは本誌にも紹介されている(第9巻第1号)。庭のアラガシに放した本種の成虫がブランコケムシを捕食するのを筆者は目撃しているが、ヨツボシケシキスイの捕食を初めて目撃したので報告させていただく。

日時 1983. 4. 30 14:30

場所 川西市芋生

状況 クヌギの古木(台場樫)に群棲していたうちの1類が、口吻の先に黒いものをぶら下げている。よく見るとヨツボシケシキスイであり、肛門に口吻を突き刺されて死んでいた。ブランコケムシなど体の軟いものならどこへでも口吻を突き刺すことができるが、甲虫類など体の大部分が固い相手に対しては軟い部分である肛門や関節などを狙うものと思われる。どのようにして口吻を突き刺すのか、その瞬間を見なかったのが残念である。

## 宝塚でのトンボ5種の採集および目撃記録

新 家 勝

注目されることが多いトンボ5種について宝塚市内における最近の採集および目撃記録を報告させていただく。

(1) *Stylogomphus suzukii* Oguma オジロサナエ

1984. 7. 21 中山寺二丁目, 足洗川谷 (♂1頭採集)

羽化間もない未熟虫であり、水辺の草叢からふらふらと飛びあがった。この谷で生育したものであることは確実である。市内では立合新田、大原野等西谷地区の山間部に産することが報告されているが(宝塚のトンぼ, 1982), 市街地に極めて近接した場所での記録は初めてと思われる。雲雀丘、山本から川面にかけての他の谷川にも産することが予想される。

(2) *Ictinogomphus clavatus* Fabricius ウチワヤンマ

1979. 7. 15 売布四丁目, 菰池 (♂1頭採集)

1984. 6. 30 安倉北四丁目, 安倉上池 (2頭目撃)

1984. 6. 30	中山寺二丁目, 足洗川谷	(1頭目撃)
1984. 7. 7	安倉北四丁目, 安倉上池	(1頭目撃)
1984. 7. 21	安倉北四丁目, 安倉上池	(1頭目撃)
1984. 7. 30	売布四丁目, 菰池	(6頭目撃)
1984. 7. 30	伊丹市荒牧, 菰牧池	(1頭目撃)
1984. 8. 5	売布四丁目, 菰池	(4頭目撃)
1984. 8. 5	中筋一丁目, 辻ヶ池	(2頭目撃)
1984. 8. 15	売布四丁目, 菰池	(2頭目撃)

市内では、小浜での記録があり、西谷方面の池でよく見られることが報告されている(宝塚のとなぼ, 1982)。中山, 売布, 安倉から伊丹市荒牧にかけても多いようである。

本種は体を水平にして棒の先や木の枝先にとまり、腹端をほぼ垂直に上げる奇習がある。中筋一丁目辻ヶ池でコンクリート壁の上面に伏せるようにとまっているのを初めて目撃した。珍しいことなので、しばらく見守っていたが、遂に腹端を上げなかった。

(3) *Aeschnophlebia longistigma* Selys      アオヤンマ

1983. 5. 29	中山寺二丁目, 足洗川谷	(1頭目撃)
1983. 6. 26	美座一丁目, 武庫川河川敷	(1頭目撃)
1983. 7. 3	安倉北二丁目, 安倉中ノ池	(3頭目撃)
1983. 7. 10	"                  "	(2頭目撃, ♂1頭採集)
1984. 6. 23	安倉北四丁目, 安倉上池	(2頭目撃)
1984. 6. 30	"                  "	(7頭目撃)

市内では小浜での記録があり、仁川で多数見られることが報告されている(宝塚のとなぼ, 1982)。安倉上池は、ほぼ全周にヨシが生えているが、殊に木立ちになっている北岸にはヨシが多数生えている浅瀬があり、本種の絶好の棲息地になっている。最盛期には同時に数頭がヨシの間を縫うように飛んでいるのを見ることができる。安倉中ノ池も、よく似た環境であったが、北岸に自動車道路ができたので1984年には見られなくなってしまった。

(4) *Epitheca marginata* Selys      トラフトンボ

1984. 6. 9	御殿山一丁目	(1頭捕獲)
------------	--------	--------

中山山系の台地にある、住宅に近い墓場の緑で、木立ちの空間を摂食飛行していた。本種が育つような池は、付近に見当たらない。大原野方面に多いことが報告されており(宝塚のとなぼ, 1982), 大原野に近い玉瀬や切畑の池で採集し、また度々、目撃している。

(5) *Somatochlora viridiaenea atrouirens* Selys      オオエゾトンボ

1983. 9. 18	境野	(♀1頭採集)
1984. 8. 11	渋谷	(♂1頭採集)

渋谷のものは、生瀬橋から十万辻峠へ通じる路上に落ちていたもので、自動車と衝突したらしく、体を破損していた。切畑で本種らしいものを時々、目撃している。切畑の生息地は、ゴルフ場造成のため失われたとのことであるが（宝塚のトンボ，1982），知られない生息地がまだ市内に残っていると思われる。

#### 4. 参考文献

- (1) 宝塚市文化財調査報告第16集 宝塚のトンボ 1982 宝塚市教育委員会
- (2) 近畿のトンボ 1984 関西トンボ談話会

## アオドウガネの食草についての報告

新家 勝

VII. 2, 1985, 宝塚市高司五丁目の武庫川堤防上で、2頭のアオドウガネがオオバイボタの花を食害していた。雨中のことであり、いずれも黄褐色の糞を垂れ流していた。分布記録の証拠として1頭を採集し、標本にした。また、翌VII. 3, 1985, 前記場所とは道路を挟んで向い側の宝塚市美幸町の武庫川堤防上で1頭がやはりオオバイボタの花を食害していた。全く同地域であるため、採集しなかった。

## 三木市でのアオマダラタマムシの採集例

森田 真澄

アオマダラタマムシ *Nipponobuprestis amabilis* Snellen van Vollehoven を採集しているので報告する。

三木市増田, 1 ex. 14-VIII-1985. 筆者採集。

この個体は体長 2.4 mm の金緑色の光沢を放ちきらびやかな外貌を誇っている。午前 11 時 30 分頃、樹高 8~9 m, 樹幹部周囲 140 cm のアカガシ *Quercus acute* Thunb. の虚の中（地上から 1.5 m）で静止していた。

尚、この虚は地上の樹幹部全体に渡って筒抜けであったが、葉は青々と茂っていた。